

## 中国の冷凍・冷蔵物流機能を強化 ～上海低温物流センターが稼働～



センコーグループホールディングス株式会社(本社:東京都江東区、社長:福田 泰久、以下「センコー」と)と株式会社ランテック(本社:福岡市博多区、社長:山中 一裕、以下「ランテック」)、中国の「中外運跨境電商物流有限公司(以下「シノトランスエア」)」の3社が出資する合弁会社「中外運扇拡国際冷鏈物流(上海)有限公司(本社:中国・上海市、董事長:肖成路、以下「中外運扇拡」)」が、中国・上海市嘉定区内に冷凍・冷蔵機能を持った「上海低温物流センター」(以下「新センター」)を2021年3月25日から稼働させました。

中外運扇拡は、センコーの現場力とランテックの冷凍・冷蔵物流の技術・ノウハウを活かし、中国国内の冷凍・冷蔵物流需要に対応するため設立され、今回、2018年11月に稼働させた「北京物流センター」に続き、同社2拠点目の低温物流センターを開設させました。

新センターは、上海港から約40km、虹橋空港から約13kmに位置し、上海市と近郊主要エリアを繋ぐ高速道路へもアクセスが良く、上海市及び近郊地区をカバーできる好立地にあり、シノトランスエアのグループ会社が所有する倉庫の一部を賃借し、日本品質のサービスを提供できるよう改造。延床面積約3,830㎡の2階建て冷凍・冷蔵倉庫で、トラックバースにはドックシェルター8基を備え、外気温に触れることなく保管商品の荷捌きが可能です。移動ラックやドックレバラー、垂直搬送機の導入で荷役効率の向上を図ると共に、冷凍・冷蔵設備も日本製の省エネ型の自然冷媒冷凍機を採用し、CO<sub>2</sub>排出量削減にも配慮しています。

中外運扇拡は、新センターの稼働でさらなる事業拡大を図るとともに、中国における食品や酒類の輸出入・国内販売ライセンスを活かして、物流と商流を一体化させたサービスの提供も進めます。

**<上海低温物流センターの概要>**

- 1. 所在地 : 上海市嘉定区解放島東環路468号
- 2. 建物構造 : 鉄筋コンクリート造り 高床式2階建て
- 3. 延床面積 : 3,830㎡(約1,160坪)
  - 1F 冷蔵294㎡、冷凍1,057㎡
  - 2F 冷蔵186㎡、冷凍2,293㎡
- 4. 主要設備 : 垂直搬送機 2基  
ドックレバラー 8基  
ドックシェルター 8基